

平成 23 年 12 月 27 日

各 位

上場会社名 前田金属工業株式会社
代表者名 取締役社長 佐藤 憲史
(コード番号 5967 大証第二部)
問合せ先責任者 管理部長 井上 昌良
(TEL 06-6976-5561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 7 月 8 日に公表いたしました平成 24 年 5 月期第 2 四半期の業績予想の修正を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 24 年 5 月期 業績予想の修正

(1) 第 2 四半期 連結累計期間 (平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回予想 (A)	1,850	180	170	80	8.12
今回修正 (B)	1,837	165	178	47	4.68
増減額 (B-A)	△13	△15	8	△33	—
増減率	△0.7%	△8.3%	4.7%	△41.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 5 月期第 2 四半期)	1,607	118	136	43	4.49

(2) 第 2 四半期 個別累計期間 (平成 23 年 6 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	1,850	170	80	8.12
今回修正 (B)	1,837	178	47	4.69
増減額 (B-A)	△13	8	△33	—
増減率	△0.7%	4.7%	△41.3%	—
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 5 月期第 2 四半期)	1,607	136	44	4.50

2 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による急激な経済活動の低下、消費者マインド悪化等による個人消費の下振れなどがありましたが、供給網の早期復旧により、個人消費・設備投資にも回復の兆しが見られてきており、復興需要の顕在化などによって景気回復を維持すると思われま

す。しかしながら一方で、欧州における債務問題や世界的な経済の減速懸念が深刻化してきており、円高、株価低迷の長期化、デフレの進行など景気悪化の要因となるものも多く、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは、「ボルト締結分野」においてお客様に満足いただける製品の開発・提供、技術サポート体制の強化並びに国内外市場の販路開拓に取り組むとともに、さらに市場深耕を図るため特殊品受注をより一層推進するなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

その結果、回復に向かいつつある個人消費・設備投資の増加を背景に、作業工具類及び機器類の販売は持ち直しつつありますが、回復力は依然として弱く、さらに特別損失として投資有価証券評価損 129 百万円を計上したことにより、売上高及び経常利益を除く各利益とも前回予想を下回る見込みであります。

通期業績予想につきましては、欧州債務問題の深刻化、海外経済の減速、円高の長期化など懸念すべき問題も多く、日本経済を取り巻く外部環境は悪化し、依然として不透明な状況を呈しておりますが、売上確保、コスト削減に努めてまいり、平成 23 年 7 月 8 日発表の平成 23 年 5 月決算短信における平成 24 年 5 月期業績予想と同一で、現在のところ変更はありません。

※上記の予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上